



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 住友重機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 別川 俊介
(コード番号 6302 東証第一部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長
佐藤 常芳
(TEL. 03-6737-2333)

「中期経営計画 2019」について

当社は、2017年度を初年度とする3カ年の「中期経営計画2019」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

2014年度からスタートした前中期経営計画「中期経営計画2016」は、2年目を迎えた2015年度に当初の財務目標（売上高7,000億円、営業利益525億円）を1年前倒しでほぼ達成しましたが、最終年度については、中国経済の減速や新興国の低成長などの影響から目標を達成することができませんでした。しかしながら、基本方針である「着実な成長」「高収益への反転」「たゆみなき業務品質改善」はいかなる経済環境下でも有効であるとの考えのもと、グローバル化の推進、サービス事業の拡大、高収益事業への重点投資、新経営理念の制定等の施策を着実に実行してまいりました。これらの施策を成果として結実させるべく、当社グループは新たに「中期経営計画2019」を策定いたしました。

記

1. 「中期経営計画2019」の目標

財務数値目標として2019年度において以下の達成を目指します。

- (1) 2019年度 売上高 8,000億円
- (2) " 営業利益 600億円 (営業利益率 7.5%)

なお、ROICを引き続き住友重機械グループの経営指標とし、ROIC>WACCを継続するとともに、ROIC7.5%以上の確保を目指します。

2. 「中期経営計画2019」経営戦略

上記の財務目標達成のため、(1)国内外の経済動向を厳しく見たうえでの「着実な成長」、(2)「高収益企業体」への転換、(3)「たゆみなき業務品質改善」による一流商品とサービスの創出、(4)成長のための「組織統合、M&Aおよび他社との事業提携」等の積極的実施、(5)CSRの積極推進を計画の基本方針に掲げ、「一流商品を提供し続ける企業」を目指します。

3. 投資計画

財務規律を維持しつつ、成長に向けての投資を積極的に展開してまいります。

| | 設備投資 | 研究開発費 | 国内採用人員 | M&A |
|-------|--------------------|-----------------|------------------------|-----------------|
| ポイント | 主力事業及び 情報化投資に重点 | 成長に向けた 商品力強化 | 技術・サービスを 中心に積極採用を継続 | 主力事業の 成長案件発掘 |
| 3ヵ年累計 | 800億円 | 520億円 | 1,400名 | 300億円 |

4. 資本政策の考え方

成長投資（設備投資、M&A）を優先し、株主還元は2017年度から3ヵ年の配当性向30%維持を基本とし、余剰資金の留保が見込まれる場合は自社株買いも検討します。

※注 ROICは投下資本税引後利益率であり、投下資本（株主資本と有利子負債の合計金額）に対してどれだけ利益を出しているか、資本のコストに見合う収益性があるかを示す指標です。WACCは加重平均投下資本コストであり、株主資本コストと有利子負債にかかるコストを示します。

以 上